

市長定例会見

令和5年1月17日（火曜日）13時30分～

- 1 令和4年度三原市市民防災訓練 ～平成30年7月豪雨災害を忘れない～について
- 2 地域活性化提案事業費補助金を活用した市内企業PR動画の制作について



市民防災訓練を実施します

～訓練のねらい～

令和4年度三原市市民防災訓練

～平成30年7月豪雨災害を忘れない～

令和5年1月29日（日）9：00～12：00

主会場：宮浦中学校体育館

（宮浦五丁目29番1号）

訓練のねらい

1 市民

実際の避難や避難所備蓄品を知ることで、避難の際に必要な持出品を確認するなど、具体的な避難のイメージを持ってもらう。

2 自主防災組織

- 地域住民への避難の呼び掛け方法の確認
- 市職員と協同して避難所の運営を体験

3 三原スタイル参加企業・団体

- 避難・ライフライン情報の共有，市民への発信方法の確認
- 救援物資の輸送など，災害時の企業・団体の行動を確認



避難所体験のイメージ

（R2三原市防災ネットワーク体験会）

市民防災訓練について（H29年度から毎年実施）

今回が6回目の開催（実地訓練は3年ぶり）

市民防災訓練を実施します

～訓練のスケジュール～

主なスケジュール

時刻	内容
9:00	【警戒レベル4】避難指示 訓練発令 ※FM告知端末と屋外スピーカーから、最大音量で放送が流れます。 ※メール配信システム、市公式SNS、市HPでも避難情報を配信。
9:00～9:50	市民避難訓練（宮浦中学校または地域で開設する避難所へ）
9:50	三原市長 あいさつ
9:55～10:25	防災講演会「命と暮らしを守るために ～ひろしまマイ・タイムラインづくり～」 講師：三原市防災士ネットワーク 会長 竹原 茂 さん
10:25～11:30	3つの体験コーナー ①段ボールベッド組立体験 ②パーテーション、エアベッドなどの体験 ③防災グッズ、アレルギー対策、カセットガス発電機（障害のある人のための物品）、平成30年7月豪雨災害パネル等の展示・説明 ※その他、応急給水タンク、マンホールトイレの展示
11:30～11:55	救援物資運搬及び配付訓練（水・非常食など）
12:00	訓練終了

大雨により
避難指示発令！



※防災講演・避難所体験は
宮浦中学校で実施

- 1 避難情報・ライフライン情報の発信訓練
- 2 市民避難訓練
- 3 避難所運営訓練
- 4 防災講演・避難所体験
- 5 救援物資の輸送訓練



5つの
ポイント

1 避難情報・ライフライン情報の発信訓練

9:00 避難情報

発信者：市災害対策本部

10:00 ライフライン情報

発信者：中国電力ネットワーク(株),
広島ガス(株), 三原市水道部

FM告知端末, 屋外スピーカー
メール配信, 市公式SNS, 市HP

三原テレビ放送(株), (株)FMみはら

緊急放送

イオンリテール(株), (株)フジ, (株)フレスタ
マックスバリュ西日本(株)

店内放送

道の駅みはら神明の里, 道の駅よがんす白竜
三原ホテル旅館同業組合

店内等掲示

生活協同組合ひろしま, (株)八天堂
城南観光(有)

事業所掲示

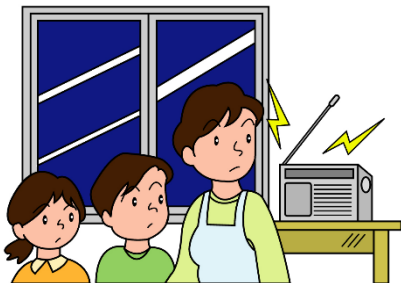
市災害対策本部

メール
SNS・HP

(株)テレビ新広島, 広島テレビ放送(株)

※通信訓練のみ
(協定締結先)

市民



2 市民避難訓練

午前9時に発令される避難指示を受けたら、
宮浦中学校または自主防災組織が開設する避難所へ避難開始

(1) 自主防災組織による避難の呼び掛け実施

- ・新倉ハイツ防災会（電話連絡・個別訪問）
→そのほか、宮浦中学校周辺に住む人は、
宮浦中学校へ避難

(2) 自主防災組織が避難所を訓練開設

- ・上徳良コミュニティホーム（大和町 上徳良自主防災会）
- ・吉田コミュニティホーム（久井町 吉田区生活安全推進協議会）
- ・黒郷コミュニティホーム（久井町 黒郷自主防災組織）（ほか 計6か所）
→**地域の方は、これらの避難所へ避難**



宮浦中学校（市が開設する避難所）

3 避難所運営訓練

宮浦中学校で、避難所の運営を、
避難した自主防災組織と市職員の協同で実施

【自主防災組織】 新倉町防災会
新倉ハイツ防災会
宮浦中央町内会防災会

【内容】

- ・避難者の受付
(体調確認, 避難者カードの記入など)
- ・避難者数の集計
- ・市災害対策本部への避難者数報告 (インターネット利用)
- ・市災害対策本部への救援物資の要請連絡
- ・避難所へ到着した救援物資の運搬及び配付 (避難者にも協力を呼び掛けて実施)



避難所受付のイメージ
(R2三原市防災ネットワーク体験会)

市民防災訓練を実施します

～ポイント④ 防災講演・避難所体験～

避難所体験コーナー（10:25～11:30）

避難所がどのような場所であるかを実際に体験し、

日ごろからどんな備えをしておくべきなのかを考える。

※参加者が3班に分かれて、3つのコーナーを20分ずつ体験

① 段ボールベッド組立体験

避難所が長期化した時などに使用される、段ボールベッドの組立体験

② 市の避難所にある備品体験

テント型パーテーション、エアベッド、簡易トイレなど、市の避難所に備蓄する物品を体験

③ 防災ネットワークコーナー

三原市防災士ネットワーク、三原アレルギーの会ひだまり、三原市福祉のまちづくり推進協議会などによる、防災グッズ、アレルギー・障害のある人のための備えなどの展示解説



段ボールベッド組立のイメージ
(H28防災キャンプ2016in二中)



防災グッズ紹介のイメージ
(R2三原市防災ネットワーク体験会)

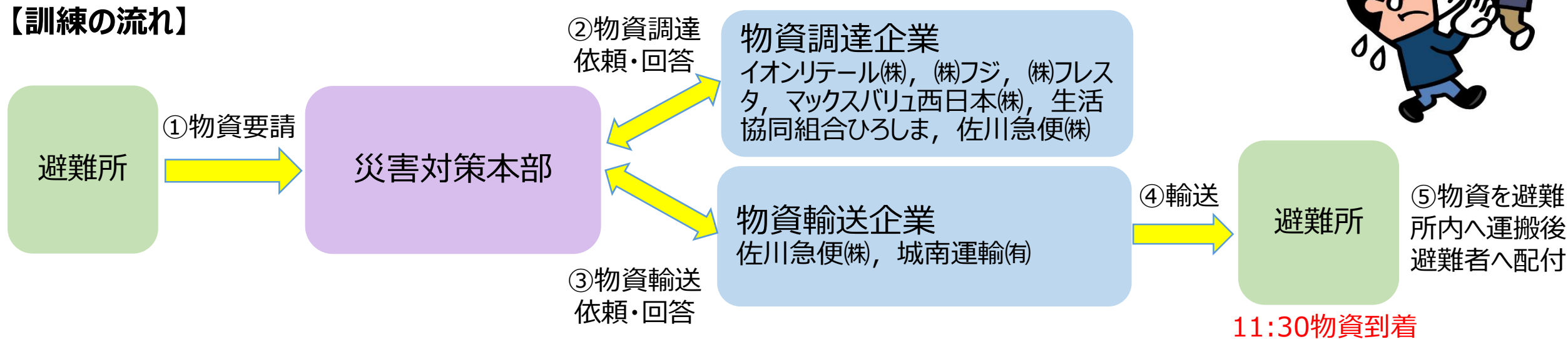
5 救援物資の輸送訓練

避難所の食料や水などの物資が不足してしまった事態を想定し、
災害対策本部が「三原スタイル」企業と連携して救援物資を調達し、
避難所の宮浦中学校に実際に輸送し、避難者へ配付する。

届いた物資は、避難者全員
で協力して運搬します！



【訓練の流れ】



※救援物資（アルファ米，ビスケット，飲料水，経口補水液）を避難所へ輸送し，訓練後，参加者にサンプルを持ち帰ってもらいます。

令和5年1月17日

“モノづくりみはら” 「三原市内企業 PR 動画を作成する会」が PR 動画を制作しました

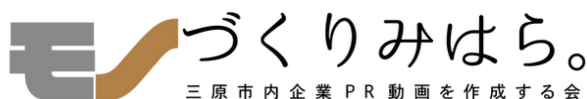
市内企業の認知度向上による就労促進を目的に，“モノづくり”に携わる市内企業が「三原市内企業 PR 動画を作成する会」を立ち上げ、市の「地域活性化提案事業費補助金」を活用し、PR動画を制作しました。市内企業が持つ技術や仕事内容を、臨場感をもって魅力的に紹介する内容になっています。動画は同会のホームページやYouTube、Instagram 広告などで広報されています。

※ 三原市内企業 PR 動画を作成する会とは

市内企業 PR 動画を作成し、インターネット上で公開することで、広く周知を図り、企業の認知度アップ、イメージアップを図り、市内企業への就労促進に寄与することを目的とした団体（今治造船株式会社 広島工場、株式会社ヒロヨシ、株式会社ニホンケミカル、有限会社三愛機工、株式会社 movies）

※ 三原市地域活性化提案事業費補助金とは

長期化するコロナ禍において、3者以上で構成する団体が、市内事業者の売上増進、集客促進、人材確保を目的として実施する取り組みに対し、財政的な支援を行うため補助するもの。



動画だから、企業のこと
が、わかりやすくなる！



▲団体 HP

【動画制作について】

1 制作主体

三原市内企業 PR 動画を作成する会

2 紹介企業/事業内容

- (1) 今治造船株式会社 広島工場
各種船舶の建造等
- (2) 株式会社ヒロヨシ
船舶用家具等の製造販売等
- (3) 株式会社ニホンケミカル
金属加工等
- (4) 有限会社三愛機工
各種機械の設計・制作等

3 制作事業者

株式会社 movies（ムービーズ）
代表者 戎 正人（えびす まさと）



【問い合わせ先】 商工振興課 課長 川上 博章（かわうえ ひろあき）

企業誘致係長 若松 隆成（わかまつ たかなり）

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号 電話 0848・67・6013(直通) FAX0848・64・4103